

6 計画の推進

6.1 計画の推進体制と進行管理

本計画を全庁的かつ着実に推進するため「環境未来創造推進本部（仮称）」にプロジェクトを設置し、各種の取組み状況に関する情報の共有化、推進状況の把握及び検証、重点的な対策の検討など、より効果的な対策の実現、各局間のさらなる連携をめざします。

6.2 調査・研究

(1) モニタリング

海風が卓越する臨海部と内陸部とでは暑さに差があることなど、大阪市内における気温分布の地域特性を考慮して、大阪市では、ヒートアイランドモニタリング調査として、市内に観測網を構築し、平成 17 年度から市内の小中学校等において夏季の気温観測を行っています。今後も、引き続きモニタリング調査を実施するとともに、市域外のデータの収集を図るなど、地域特性のさらなる把握に努め、施策・計画の見直しのための基礎データ等に用います。

また、大阪市域のヒートアイランド現象を詳細に分析するため、気温や湿度等とともに、排熱状況、蓄熱状況、緑化状況などを含めたメッシュ別のヒートアイランド関連情報マップを作成していくなど、地域の熱環境特性を明らかにしていきます。

(2) 調査研究

ヒートアイランド現象など、都市の気温変動の要因については、様々な調査研究やシミュレーションが行われていますが、依然として未解明な部分も多く、各種の対策効果の評価等についても一層の精度向上が必要です。

このため、大学や研究機関等における関連の調査、研究成果などを注視しながら、その情報収集に努めるとともに、「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム（大阪HITEC）」などにおいて、産・官・学・民が連携、協力しながら、ヒートアイランド対策についての情報や意見の交換、対策技術の開発、検証などについて、調査研究を行っていきます。